

電 信

保存期間：令和 5年12月31日迄

主管

総番号 R0000430

主管

令和 2年 1月 5日 [REDACTED]

トルコ発 中東1

令和 2年 1月 5日 [REDACTED]

本省着

外務大臣殿

宮島 昭夫大使

注意

電電報報のに取扱りするい照は会慎は重情に報頗通い信表課す來電處理班内線四一二三・四二一四に連絡願います。

カルロス・ゴーン氏のレバノン入国（トルコ紙報道振り）

第9号 [REDACTED]

往電第8号に関し、

1月5日付け当地報道ぶり以下のとおり。

1 逃亡の経緯

(1) カルロス・ゴーン元日産CEOのレバノンへの逃亡の詳細が明らかにされた。MNG航空が運航するジェット機「TC-TSR」は、イスタンブールからドバイに向かい、そこから元米特殊部隊員であるM. L. TaylorとG. A. Zayekの2名と音響機器を入れるための2つの箱を大阪に運んだ。関空では、箱が大きいためX-rayに通せず、ハンディ金属探知機による検査が行われた。当該機は1日後の12月29日11時10分に離陸し、米国人2名と箱に隠れたゴーン氏をイスタンブールに運んだ。

(2) 当該米国人らは、「邪魔されたくない」としキャビンテンダントを客室に入らせなかつた。Aksam紙の報道によれば、12月30日、MNG航空が運航するジェット機「TC-RZA」はアタテュルク空港で同会社所有の格納庫の前で待機した。5時29分に大阪からアタテュルク空港に入港した「TC-TSR」は待機中のジェット機の20メートルの近くで停止し、(逮捕された)MNG航空社社員(Okan K)は乗客2名が降りるのを待ち、パイロットとキャビンアテンダントを乗り込ませた。また、5分以内に音響機器の箱は積み替えられた。

電 信

注意

電報の取り扱いは慎重に請い、信頼する会員には、常に信頼をもってして下さい。

(3) その直後、Okan K. も乗り込み、(離陸のために) 最終チェックがなされないままレバノンに向か離陸した。乗客リストには1名の乗客のみ記載され、箱から出てきたゴーン氏は通常の乗客として飛行した。ゴーン氏をベイルートに降ろした後、Okan K. は当該機で戻ってきた。また、米国人2名は定期便でイスタンブールからベイルートに向かった。

2 ギュル司法大臣発言概要

現在のところ、日本から司法協力要請はきていない。レッドノーティスで追われる人物がトルコにいるのであれば、トルコは送還に応じる。

転電《添付無》イスタンブール、レバノン、フランス、米国、ブラジル(了)